

都市計画事業

JR長崎本線連続立体交差事業

～街をつなぐ 人をつなぐ 明日へつなぐ～



長崎駅周辺完成イメージ

駅周辺市街地の課題

- 踏切により市街地東西の円滑な交通が妨げられ、交通混雑が生じています。
- 鉄道により市街地が分断され、駅周辺の一体的な土地利用が阻害されています。
- 長崎駅西側には有効活用されていない広大な低・未利用地が存在しています。



駅周辺の低・未利用地と分断の状況



竹岩橋踏切の混雑状況

踏切が遮断している時間

	1日当たりの遮断時間 (時間/日)	ピーク時遮断時間 (分/時間)
竹岩橋踏切	約4時間30分	約20分 (18~19時)
梁川橋踏切	約4時間00分	約18分 (18~19時)
宝町踏切	約4時間10分	約20分 (18~19時)
幸町踏切	約8時間00分	約37分 (23~24時)

踏切による交通遮断の状況

長崎駅周辺の整備事業3つの柱

長崎駅周辺の複合的な課題解決のため3つの整備事業が計画されています。

市街地分断・踏切解消
連続立体交差事業

低・未利用地の有効活用
土地区画整理事業

全国に繋がる
高速交通ネットワークの整備
**九州新幹線
西九州ルート**



長崎駅周辺の整備事業位置図



連続立体交差事業 松山町~尾上町 約2.5km

土地区画整理事業 約19ha

連続立体交差事業とは？

交通量の多い道路と鉄道が交差している踏切は大変混雑します。この交通渋滞の原因となっている鉄道を高架方式にして、全ての踏切を無くすとともに、市街地の分断を解消する事業を、連続立体交差事業といいます。

当事業では、4つの踏切（幸町踏切、宝町踏切、梁川橋踏切、竹岩橋踏切）が無くなるため、交通渋滞の解消および東西市街地の一体化による地域活性化が期待されます。

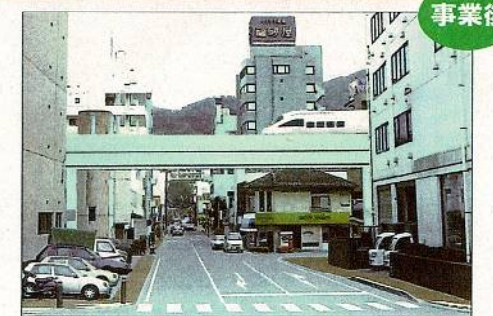
連続立体交差事業の効果は？

- 鉄道が高架になるため、踏切による交通渋滞や踏切事故がなくなります。
- 鉄道で分断されていた市街地の一体化が可能となります。
- 高架下の空間を有効に活用できます。
- 交通渋滞の解消により、CO₂排出量を削減できます。

踏切付近の整備イメージ



【竹岩橋踏切の現在の状況】



【整備後のイメージ】



【梁川橋踏切の現在の状況】



【整備後のイメージ】

稲佐橋立体交差の整備イメージ



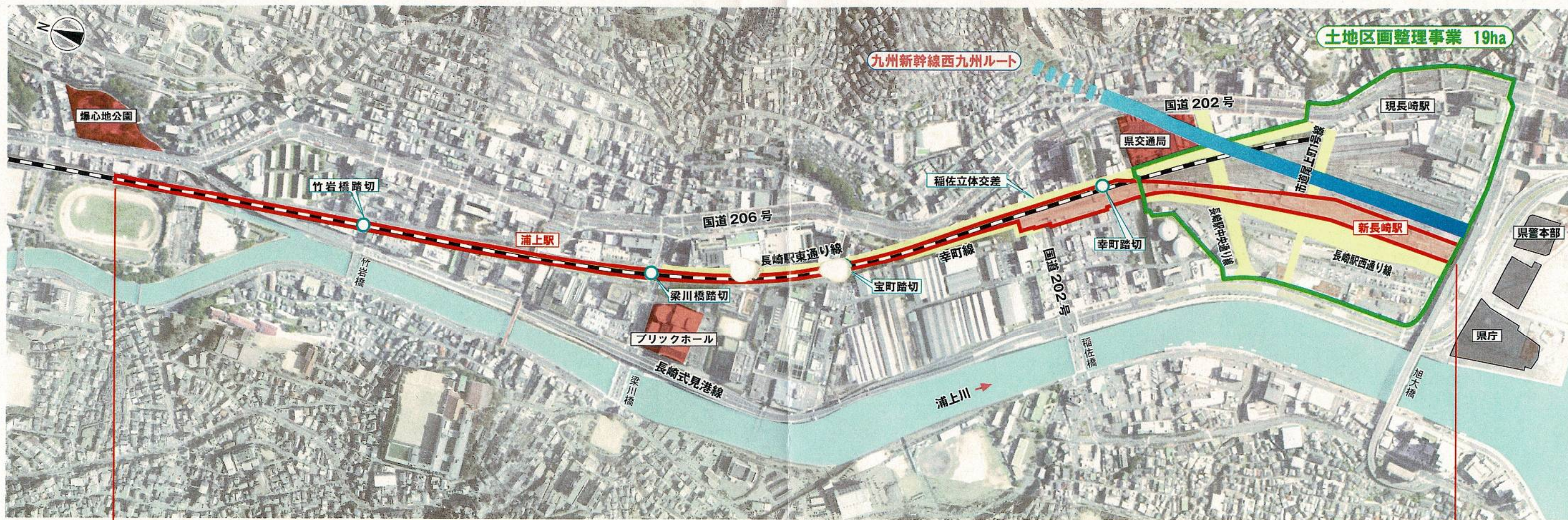
【稲佐橋立体交差の現在の状況】



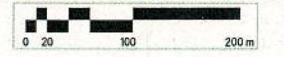
【整備後のイメージ】

道路が平面になることで、沿道が利用しやすくなるとともに、坂道発進等がなくなることでCO₂排出量の削減が図られます。

JR長崎本線 連続立体交差事業計画



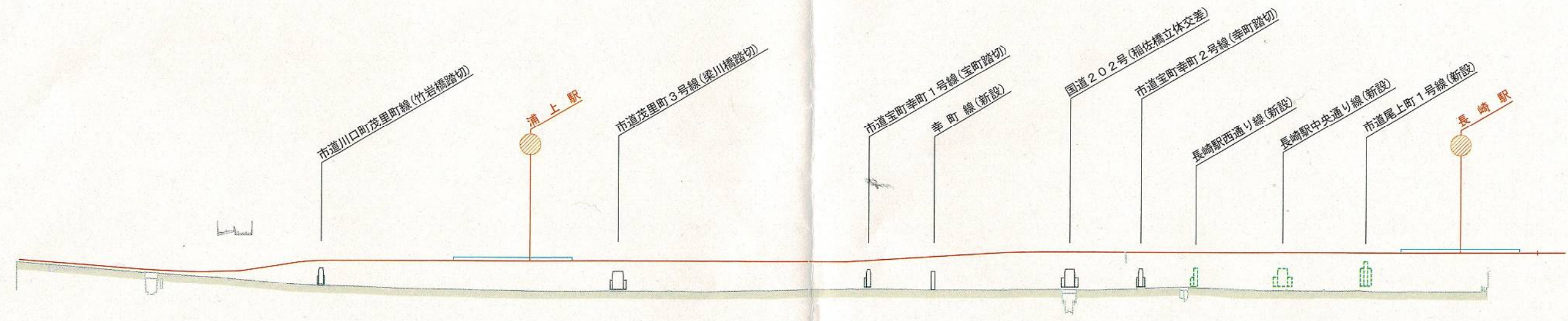
事業区間 街路 区画整理



連続立体交差事業区間
延長 2,480m

工事起点

工事終点

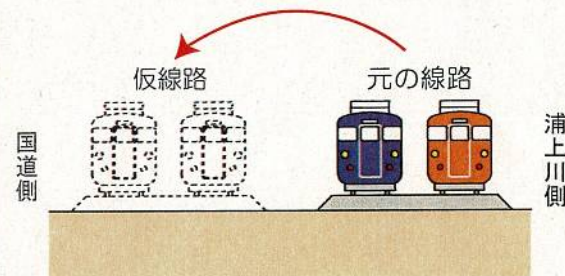


連続立体交差事業 工事の流れ

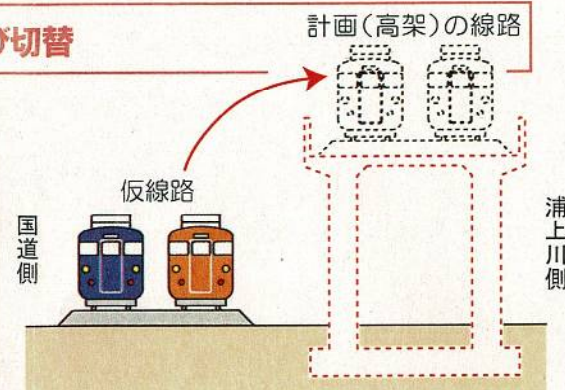
1 車両基地の移転(平成26年3月移転完了)



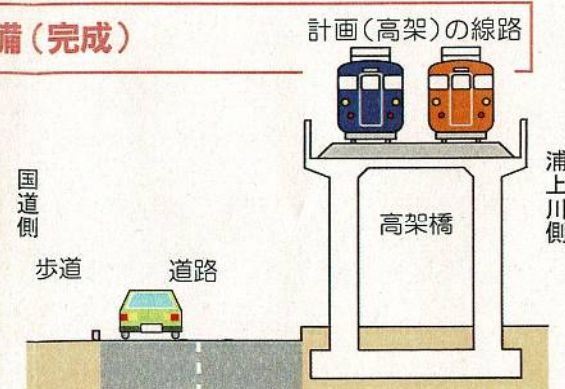
2 仮線路工事及び切替(平成28年3月全線切替完了)



3 高架橋工事(施工中)および切替



4 仮線路撤去・道路等の整備(完成)



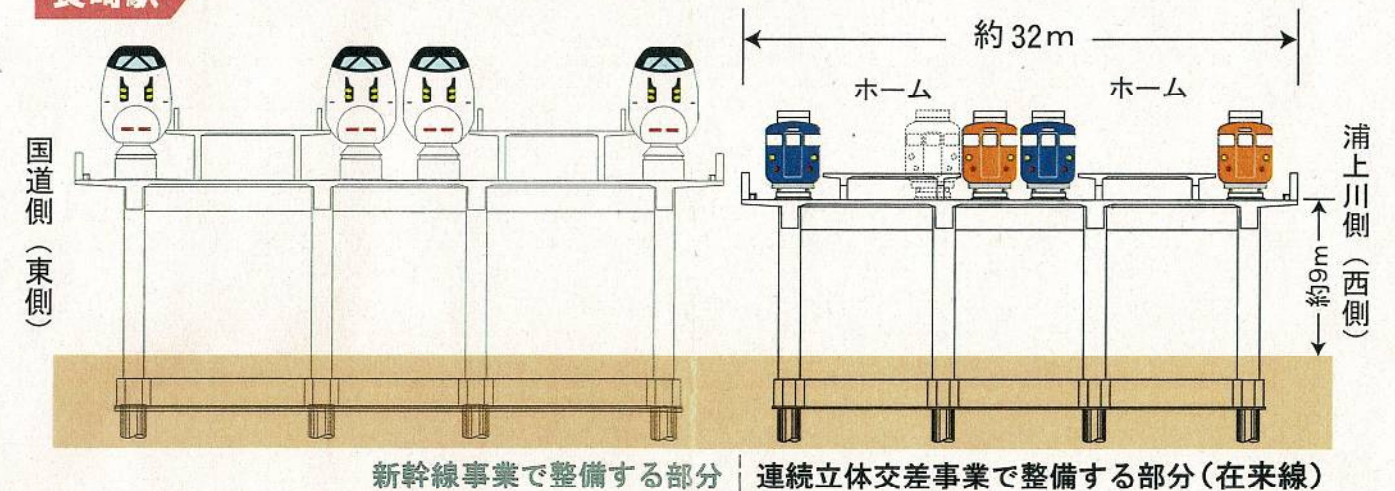
JR長崎本線 連続立体交差事業の概要

事業名称	JR長崎本線連続立体交差事業
事業主体	長崎県
事業区間	松山町～尾上町(2,480m)
工事方法	仮線方式
除去踏切	竹岩橋踏切、梁川橋踏切、宝町踏切、幸町踏切
高架駅	長崎駅、浦上駅
街路事業	長崎駅東通り線、幸町線
事業期間	平成21年度～平成33年度
総事業費	約459億円(鉄道事業者の負担金含む)

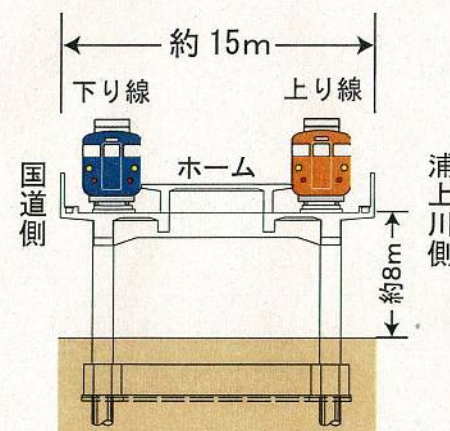
駅の構造

- 高架駅となるため、改札が1階、ホームが2階となります。
- 長崎駅は在来線が2つのホームに線路が5本、新幹線は2つのホームに線路が4本の駅となります。浦上駅は1つのホームに線路が2本の駅となります。

長崎駅



浦上駅

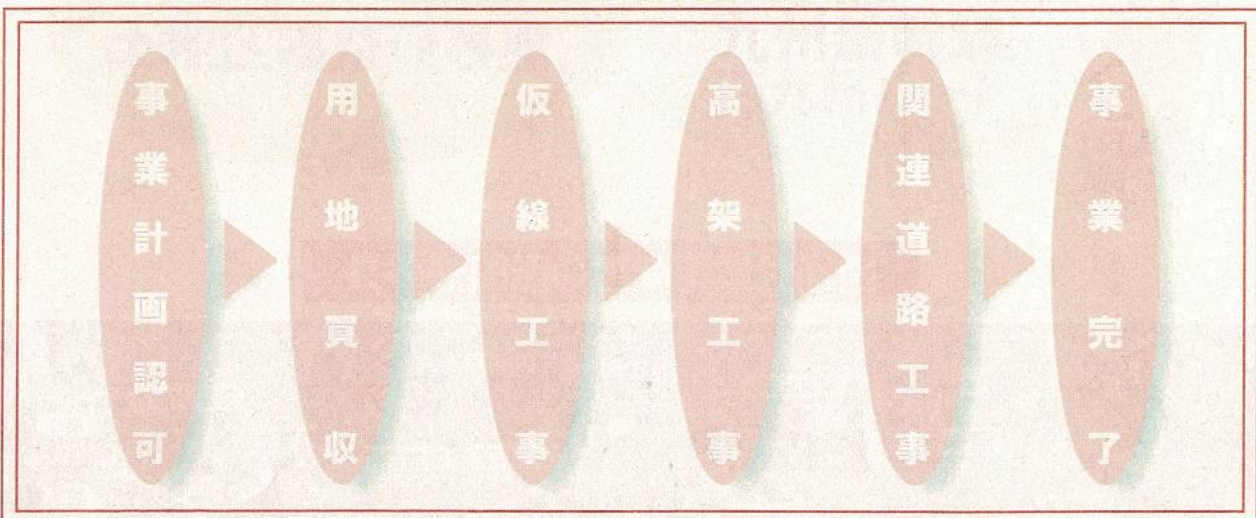


長崎駅周辺の整備イメージ

連続立体交差事業の経緯

平成13年4月	連続立体交差事業（着工準備）採択
平成20年12月9日	都市計画決定についての国土交通大臣の同意
平成20年12月26日	都市計画決定
平成22年2月18日	事業認可
平成22年2月24日	鉄道事業者との基本協定締結
平成22年8月	早岐駅構内へ車両基地移転工事の着手
平成25年5月13日	浦上駅仮駅舎・仮線路関係工事の着手
平成25年12月14日	浦上駅仮駅舎営業開始
平成26年3月15日	早岐駅車両基地運転開始
平成28年3月26日	仮線路全線切替完了（長崎市松山町～幸町）
平成28年10月	高架本体工事の着手
平成28年12月	浦上駅仮駅舎バリアフリー対応のためのエレベーター工事着手
平成29年3月25日	浦上駅仮駅舎エレベーター運用開始
平成29年11月29日	事業認可変更

連続立体交差事業の流れ



長崎県長崎振興局 建設部 都市計画課

〒852-8134 長崎市大橋町 11-1

TEL 095-844-2181（代）

<http://www.pref.nagasaki.jp/section/ng-toshikei>